

発行:安全な生活を願う市民の集い(E-mail:chori\_msm@ybb.ne.jp/Tel&Fax:042-725-1898)

## 《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう!》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2012/12/14 集計 + オンライン署名増加分 = **8,176,738** 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。一人また一人と、参加者が増えることを願って!

## 12月24日(月・祝)・13:30~18:00(開場・13:00)「**原発全廃 絶対できる!**」大集会

**クリスマスは日比谷公会堂へ!みんな集まろう!**会場:日比谷公会堂(地下鉄・日比谷駅より徒歩3分)

参加費:1,000円(予約不要・**先着順2,000人まで**) / 主催:「終焉に向かう原子力」実行委員会

問い合わせ:Tel:03-3739-1368 / E-mail:shuuen@eagle.ocn.ne.jp 《**祈念・原発からの脱却!**》

### ご挨拶

本年もご愛読下さり、ありがとうございました。次号(No. 50)は、1月11日発行の予定です。来年もよろしくお願いたします。皆さま、どうぞお元気でよい新年をお迎え下さい。(編集部一同)

絶望しつつも、希望を持つとう!

このたびの都知事選・衆議院議員選では、原発推進勢力大勝を目の当たりにして、ショックから立ち上がれずにいる方も多いと思います。夏のあのパブリックコメントの結果では、脱原発を望む意見は国民の8割以上でした。それがそのまま今回の選挙に反映される性質のことではありませんが、それにしても、乖離は余りにも厳しいものでした。『脱原発基本法』は当面お蔵入りを余儀なくされます。残念でなりません。しかし、法制定ネットワークの方々によって精魂込めて仕上げられた法案は、チャンスさえあれば、いつでもサツと公開してその是非を問える状態になっているのです。チャンスはいつ来るか。其れは誰にも分かりません。新政権のリーダーがいっまた卓袱台返しをしないと

も限りません。

福島原発事故の現地では、今この時も、生活を奪われた方々が、まだ復旧には程遠い仮設生活のままで二度目の冬を迎えています。全国の原発立地に暮らす人々は、その地の断層の安全度を巡る不安と、原発交付金の依存の地域経済の先行き不安との狭間で苦悩しています。その間にも各原発からは夥しい量のプルトニウムが核のゴミとして排出され溜まり続けています。私たちはここから眼を離すわけにはいきません。新政権のリーダーは「強い国日本」の実現に夢中です。それで、本当に良いのでしょうか?自分や身近な人達、未来を生きる子供たちが、本当に良い人生を生きるために何が一番大事か、考え直す時だと思えます。人間の本当の幸せについて考え合う中で、希望が見えてくると思えます。

**2013年1月5日土**  
**高田馬場★脱原発デモ!**  
■集合⇒13:30 西戸山公園 [西武池袋線・西武池袋線西口]  
■デモスタート⇒14:00



あけましておめでとーさんになります。  
年最初のデモは高田馬場で。

2013年3月9日(土)・10日(日)・11日(月)

## 『さようなら原発・1000万人アクション』大集会(予定)

詳細は未定です。問い合わせ先:千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館(1F) 原水爆禁止日本国民会議 気付(Tel:03-5289-8224)

前日集会

## 鎌田慧さんと考えよう!『脱原発へのプロセス』

—何がそれを阻んでいるのか—

2013年3月8日(金) / 開場・18:00 / 開演・18:30

場所・町田市民ホール(小田急線町田駅より徒歩約10分) / 参加費・500円 / 講演・鎌田慧さん(作家・ジャーナリスト・さようなら原発1000万人署名世話人) / 福島からのアピール・黒田節子さん(原発いらない福島の女たち) / 主催・「3.8 さようなら原発・町田の集い実行委員会」 / 呼びかけ人・井野博満さん(東京大学名誉教授)、山口幸夫さん(原子力資料情報室) / 連絡先・原発事故を考える町田市民の会(Tel・042-729-2296) 又は宮城(042-727-8559)

**原発いらない! 福島県民大集会**(仮称) / 日時:2013年3月23日(土)・13:00~ / 場所:福島市「あづま総合体育館」 / 問い合わせ:福島県平和フォーラム(024-522-6101):詳細は未定。

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。